令和　　年　　月　　日

受講申込書　FAX 06-6530-0031　E-mail : kenshu-kansaiko@smrj.go.jp

中小企業大学校関西校　研修担当　行

ふりがな
企業・団体名
ふりがな
代表者名（役職）
〒
住　所
代表　TEL（　　）　　－
FAX（　　）　　－

連絡担当　ふりがな
部課名　　氏名
TEL（　　）　　－
FAX（　　）　　－
E-mail：

■貴社の概要について（必ずご記入ください）

(1)業種(該当する番号に○をおつけください)
D　建設業(06 総合工事　07 識別工事　08 設備工事)
E　製造業
09 食料品　10 飲料･飼料　11 繊維工業　12 木材･木製品
13 家具･建具　14 パルプ･紙　15 出版･印刷　16 化学
17 石油製品･石炭製品　18 プラスチック製品　19 ゴム製品　20 革製品
21 窯業･土石製品　22 鉄鋼　23 非鉄金属　24 金属製品
25 汎用機械器具　29 電気機械器具　31 輸送機械器具　32 その他
G　情報通信業
H　運輸業
I　卸売業　I　小売業
a 繊維品　b 化学製品　c 機械器具　d 建築材料等　e 衣服　f 食料
g 医薬品　h 家具　i 什器等　j その他(　　)
N　サービス業　　U　その他(　　)

(2)資本金	(3)従業員数	(4)創業年月
万円	人	年　月

(5)主要取扱品目：

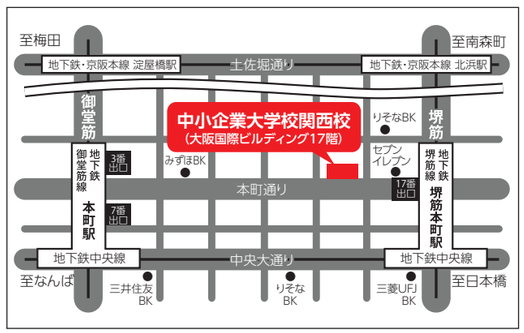
■受講者について

【申込コースおよび受講希望者情報】コースNo.240200 工場管理者養成コース

コースNo.	(ふりがな)受講者名	部署・役職(役職を記載の上、該当区分に○)	年齢	性別
No.240200		部署：　役職： 1. 代表者　2. 役員 3. 管理者　4. 管理者候補等	歳	男・女
	緊急連絡先(携帯)	－　－	※緊急(研修中止等)の際、ご連絡するためにお聞きしています。	
No.240200		部署：　役職： 1. 代表者　2. 役員 3. 管理者　4. 管理者候補等	歳	男・女
	緊急連絡先(携帯)	－　－	※緊急(研修中止等)の際、ご連絡するためにお聞きしています。	

＜反社会的勢力でないことの確約について＞
当社は、暴力団等の反社会的な勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。また、反社会的勢力に該当し、もしくは暴力的な要求行為等に該当する行為をしたことが判明した場合には研修の受講を中止されても異議申し立てを行いません。

今回の研修を知ったきっかけについて、該当するものに○をご記入ください。
1. 研修ガイド　2. チラシ　3. ホームページ　4. ウェブ広告･SNS　5. メルマガ　6. 他社の紹介･口コミ　7. 自治体･商工団体
8. 金融機関　9. 大学校･中小機構職員の訪問･電話　10. セミナー･イベント　11. その他(　　)



〈中小企業大学校関西校〉

地下鉄をご利用の場合Osaka Metro(大阪メトロ)
堺筋線･中央線「堺筋本町」駅　出口(17番)徒歩2分
御堂筋線･中央線「本町」駅　出口(3番又は7番)徒歩5分
※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

大学校使用欄

■お申込み方法

- 関西校HPのオンラインでお申込みいただくか、こちらの申込書を電子メールもしくはFAXでお申込みください。
- 受講申込後、開校日の約1か月前から「受講決定通知書兼振込依頼書」を送付いたしますので、所定の期日までに受講料をお振込みください。
- 応募多数の場合はキャンセル待ちをいただくか、もしくは受講をお断りすることがございますので、お早目のお申込みをおすすめします。

■受講申込みにおける個人情報の保護について

中小企業大学校関西校では「個人情報保護法」に基づき、個人情報の適切な管理に努めてまいります。皆様から頂戴しました受講申込書に記載されている内容をもとに、今後お客様に有益と思われる研修など当機構内で実施する事業のご案内を郵便、電子メール、FAX等でお送りさせていただくことがあります。また、研修実施にあたり、講師に個人情報を通知する場合がありますが、より効果的な研修にすることを目的に行うものです。「個人情報」につきましてご質問がありましたら関西校までお寄せいただくようお願いいたします。

中小企業大学校関西校
〒541-0052 大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング17階
TEL: 06-6530-0029　FAX : 06-6530-0031
URL : https://www.smrj.go.jp/institute/kansai/
E-mail : kenshu-kansaiko@smrj.go.jp

ホームページ
関西校　検索

第27期

工場管理者養成コース

2024 7/23 開講

改革力を身につける！
基本から実践へ

- リーダー･管理者の役割とマネジメントの基本を学ぶ
- 生産管理の基本を学ぶ
- 講師の指導のもと自社の「工場改革」を実践

Be a Great Small.
中小機構

独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部
中小企業大学校 関西校

ねらい

製造業を取り巻く経営環境が混迷する中、競争力の「源泉」・「基盤」を担う製造現場のリーダーには、工場経営の立場から、現状をいち早く見極め、改善への道筋を描く能力と、現場を指揮し目標へと導く強いリーダーシップとが求められます。
この研修では、工場改革を牽引する管理者を目指し、その職務・役割の基本を理解した上で、生産管理およびマネジメントの知識・手法について基礎から体系的に学びます。また、講義と並行して行う課題研究では、学習を現場に活かす応用力・実践力を身に付け、自らリーダーとして自社の更なる成長に挑戦するための『工場改革』の実践に取り組みます。

特色

1 POINT リーダー・管理者の役割とマネジメントの基本を学ぶ

製造業における工場管理者の職務と経営の視点から、果たすべき役割について基本から学びます。また、管理者に求められる問題発見～解決に至る考え方や、現場でのリーダーシップのあり方・マネジメント力について、講義と豊富なグループ・ディスカッション等を通じ、実践的に学びます。

2 POINT 生産管理の基本を学ぶ

現場改善の基本手法から、Q（品質）・C（原価）・D（納期）を軸とする生産管理の基礎知識およびマネジメントのポイントまでを体系的に学びます。

3 POINT 講師の指導のもと「工場改革」を実践

課題研究では、個別指導のもと自社の「工場改革」を実践します。研修のインターバル期間も活用し、学習内容を自身の現場に、そして現場の実態を学びへとフィードバックし、知識・理論のより実践的な修得を図ります。

自らリーダーとして「工場改革」の実践へ！

コースの全体像・流れ

STEP 1　1回目

工場管理者の職務と基礎知識

【工場管理者の役割】
- 現場でのリーダーシップ
- 問題解決の視点

【現場改善の基礎】
- 5S と「目で見る管理」

自社経営における製造現場の果たす役割、工場管理者としての心構え等を学びます。また、生産管理の考え方のベースとなる、現場改善手法の基礎を学びます。

STEP 2　2～4回目

生産管理の手法と実践のポイント

【Q 品質管理】
- 管理手法の基礎（QC7つ道具他）
- 管理活動の実践ポイント

【C 原価管理】
- 原価の仕組みと収益構造
- コストダウンの進め方

【D 工程管理・生産性向上】
- 生産計画・統制の進め方
- リードタイム短縮の手法
- IE 技法の現場への活用

生産管理の基本＝Q［品質］・C［原価］・D［納期］を中心に、基礎的な管理手法・理論から、現場マネジメントのポイントを学びます。

課題研究
講義内容を自社現場に落とし込み、現状分析から問題点の抽出、改善案検討へと進みます。

STEP 3　5～6回目

具体的な改善策の立案

【計画策定・検証】
- 計画策定のプロセス
- 実現性、効果の検証

【現場での心構え】
- 実効性を高めるマネジメント
- 現場リーダーの心構え
- 自身のビジョン・理想像とは

講義内容を総括し、問題整理・検討の着眼点を学びます。
また、プラン発表後は自社で取り組みを行う際のポイントを学びます。

課題研究
自社の「工場改革」の実践に向けて取り組みます。最後に全体でプレゼンテーションを行い、実践に向けた心構えを養います。

1回目　工場管理者の職務と基礎知識

7/23(火)	（※初日開講式）工場管理者の職務と役割
7/24(水)	現場で求められるリーダーシップ
7/25(木)	5Sと「目で見る管理」の手法と実践

2回目　品質管理の手法と実践

8/26(月)	課題研究(1)
8/27(火)	品質管理の基礎知識
8/28(水)	品質管理活動の進め方

3回目　原価管理とコストダウンの進め方

9/24(火)	原価管理の基礎知識
9/25(水)	コストダウン活動の進め方
9/26(木)	課題研究(2)

4回目　工程管理と生産性向上

10/28(月)	工程管理の考え方・進め方
10/29(火)	生産性向上の手法と実践ポイント
10/30(水)	課題研究(3)

5回目　工場改革の実現性、効果の検証

11/19(火)	計画策定のプロセスと実現性・効果の検証
11/20(水)	課題研究(4)
11/21(木)	課題研究(5)

6回目　工場改革の実践の継続

12/17(火)	課題研究(6)
12/18(水)	課題研究報告会
12/19(木)	「工場改革プラン」実践上の留意点

※内容は変更となる場合がございます。

ゼミナールの概要

講師の個別指導のもと学んできた知識を活かし、自社の工場改革の実践につなげます。

ゼミナール

課題研究報告会

課題研究分野の例

生産性の向上	作業性の向上
不良の削減	コスト削減
生産リードタイムの短縮	トラブル防止案など

応募要領

受講対象者
生産部門の管理者（課長クラス）、工場管理者候補の方

研修期間
2024 7/23(火)～2024 12/19(木)

研修時間の目安
9:30～16:30 もしくは 17:30
（6～7時間※昼休憩1時間を除く）

定　員　30名

受講料　182,000円（教材費含む・税込）

特記事項
研修受講に際しては、自社工場の写真・動画等、自社分析のための各種資料が必要になります（大学校や第三者へ提出するものではありません）。
貴社内のご理解とご協力をお願い致します。
また、課題研究における研究報告書等作成の際にはパソコンが必要になります。

申込方法
関西校ホームページのオンラインでお申込みいただくか、裏面受講申込書に必要事項をご記入のうえ、電子メールもしくはFAXして下さい。

受講決定
お申し込み後、開講日の約1か月前から当校より「受講決定通知書兼振込依頼書」を送付いたします。
受講料につきましては、上記通知書記載の口座へ指定期日までにお振込みください。

※振込手数料は貴社のご負担になります。
※振込後の受講料は、受講を辞退される場合でも、その全部又は一部を申し受けます。

※宿泊施設はございませんので、ご自身で宿泊手配等を行って下さい。